

核兵器禁止条約への参加・調印・批准に関する意見書の提出について

令和2年11月25日受理

今、核兵器禁止条約をめぐる情勢について大きな変化が起きています。

1点目は、核兵器禁止条約が50カ国以上の批准により2021年1月22日に発効することです。2点目は、アメリカ合衆国大統領選挙において、核兵器に関する条約に対して否定的なトランプ大統領にかわりジョー・バイデン氏の大統領就任が2021年1月20日に予定されています。「核なき世界」を目指したオバマ前大統領を支えたバイデン氏の就任であることから、核軍縮の動きが大きく変わることが予想されます。

また、令和2年10月23日現在で秋田県内の22市町村議会において国へ署名・批准を求める意見書が採択されています。

つきましては、秋田市議会においても、核兵器禁止条約への参加・調印・批准に関することについて、国会及び関係行政庁に対して意見書を提出してくださるようお願いします。

## 請願第27号

あきた芸術劇場中ホールに反響板を常設しないことに決めた不透明な経緯に関して  
県民・市民への丁寧な説明を行うことについて

令和2年11月25日受理

私たちは、これまでの2度の請願において、あきた芸術劇場中ホールへの反響板の常設について、構想段階からの状況をさまざまな立場より把握し、県・市に対して請願の内容で簡潔に説明し、中ホールに反響板を常設しないことに決めた経緯を回答・公開するように求めてきました。今後、建設中及び開館準備段階、さらに開館し、施設運用後においても、これまで私たちにいただいた陳情・要望書に関する署名を受けて、その強い民意を秋田県管弦楽連盟が代表して、中ホールに常設の反響板を設置するよう要望活動を継続していくつもりです。

今回、当連盟で3度目の請願を提出するのは、構想の初期段階で中ホールの目的があまり事前に検証されることなく計画が先行され、将来を担う児童生徒や若者が活躍できる機会均等の場所の提供が抜けているからです。これまで会派を超えて請願の採択に意を決していただいた議員の皆様には感謝を申し上げます。しかし、初期段階での構想について議会や委員会への十分な報告もままならないうちに、建設が進められていることの責任の所在は明確にしなければなりません。そこで、中ホールに反響板を常設しないことに決めた不透明な経緯について、県・市に対して丁寧な説明を求めることとしました。

その内容として、①構想段階から音楽団体の了解を得て進めているとされているが、関係する音楽団体とどのような話し合いを経て中ホールに反響板を設置しないことを決めたのか。②2017年のワークショップにおいて中ホールに反響板を設置しないことを説明したとされる記録の公開を求める。③秋田市文化会館の代替機能の中ホールにどう実現するのか。④既存のホールの利用状況から、学校教育現場を含めて反響板がなければ演奏や発表に支障があって困る団体と反響板を収納することで表現上困るといふ団体の割合について、利用実態の正確な資料を求める。⑤中ホールに反響板があれば演出に支障があるとする県・市の説明のもとになる図面等の資料の公開を求める。⑥2019年策定の運営管理計画に示された「主に県民・市民の多様な文化芸術活動を支えるステージとなる舞台芸術型ホール」は、現状では商業劇場ではないのか。

以上の点について、あきた芸術劇場中ホールに反響板を常設しないことに決めた不透明な経緯に関して、県民・市民への丁寧な説明を行うよう、請願します。